

平成20年8月7日

各 位

会社名 株式会社 新潟放送  
 代表者名 代表取締役社長 竹石松次  
 (JASDAQ・コード 9408)  
 問合せ先 常務取締役経営管理局长 相澤信介  
 (TEL. 025-267-4111)

平成21年3月個別業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想のうち個別業績予想につきまして、平成20年5月23日付の当社「平成20年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成21年3月期第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	3,848	211	251	124	20 68
今回予想(B)	3,590	65	112	46	7 72
増減額(B-A)	△ 258	△ 146	△ 139	△ 78	—
増減率	△ 6.7%	△ 69.2%	△ 55.4%	△ 62.9%	—

(ご参考)

前期第2四半期実績	3,870	282	318	163	27 19
-----------	-------	-----	-----	-----	-------

平成21年3月期通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	7,800	400	456	207	34 62
今回予想(B)	7,375	220	287	115	19 17
増減額(B-A)	△ 425	△ 180	△ 169	△ 92	—
増減率	△ 5.4%	△ 45.0%	△ 37.1%	△ 44.4%	—

(ご参考)

前期実績	7,655	534	591	273	45 61
------	-------	-----	-----	-----	-------

#### 個別業績予想の修正理由

放送業界におきましては、ラジオ広告の長期的な低迷に歯止めがかからないことに加え、テレビの広告市況も、景気の減速感が強まりつつある経済状況下で広告主企業における収益の悪化懸念や広告展開の構造的変化により、大幅に冷え込む可能性が強まっております。

当社の収益の支柱であるテレビのスポット広告出稿について、当初における広告主企業の収益状況は概ね前年並みと予測しておりましたが、第1四半期においてその見込みを大幅に下回り出稿が減少したことにより、当社の売上高は予測を下回る水準で推移しました。この第1四半期の減収傾向が第2四半期以降も続く見通しの下に、第2四半期累計期間及び通期とも、業績予想を修正いたします。

このような状況のなかで、当社は、より積極的な営業活動を行うとともに、費用面におきましても一層のコストコントロールの実施により収益の確保に努めてまいりますが、利益面におきましても、売上高の減少を補うのは極めて困難であると判断し、平成20年5月23日付の当社「平成20年3月期決算短信」にて公表いたしました個別業績予想数値を修正いたします。

なお、平成21年3月期の連結業績予想につきましては、第1四半期終了時点の連結子会社の状況及び今後の見通し等を勘案し、第2四半期累計期間及び通期とも、平成20年5月23日付「平成20年3月期決算短信」にて公表いたしました業績予想数値の範囲内で概ね収まるものと見込んでおり、業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上